

令和6年度 部会報告（就労支援部会）

1 開催実績

- ・社会・就労活動部会から就労支援部会となり、部会長、副部会長が置かれることになった初めての年度。
- ・昨年度以前から協議会で話題として挙がっていた各事業所が抱えている課題（詳細は次項）を整理し、部会として取り組めることを部会長、副部会長、事務局で検討し、「地域への周知、工賃向上等、事業所同士の連携やスタッフのスキル向上」に焦点を当てることにした。

- ① オビパラフェスタに参画：企画・運営から当日の出店までの一連の流れを参加団体で一緒に行う。
- ② 十勝障がい者就業・生活支援センターだいちと共催でスキル向上に関する研修会を実施。

| 回 | 開催日 | 実施内容概要 | 参加数 |
|---|--------------------|--|------|
| 1 | 令和6年6月20日 | ・令和6年度就労支援部会開催内容の説明 ・就労支援事業所におけるジョブジョブとかちの登録について | 29人 |
| 2 | 令和6年7月18日 | ・オビパラフェスタ実施内容の説明 ・就労支援部会としてのオビパラフェスタ実施内容検討 | 26人 |
| 3 | 令和6年8月8日 | オビパラフェスタ実施内容の検討 (販売・展示チーム、ワークショップチーム、広報・イベントチームに分かれて検討) | 23人 |
| 4 | 令和6年9月19日 | オビパラフェスタ実施内容検討（グループワーク） | 27人 |
| 5 | 令和6年10月17日 | オビパラフェスタ実施内容検討（グループワーク） | 26人 |
| 6 | 令和6年11月28日 ～30日 | オビパラフェスタ (パネル展、作品展示即売会、ワークショップ、就労支援事業所紹介、くじ引き・スタンプラリー) | 22団体 |
| 7 | 令和7年1月21日 | ・オビパラフェスタ振り返り ・令和7年度就労支援部会の実施内容検討 | 29人 |
| 8 | 令和7年2月13日 | 研修「職場実習の取り扱い説明書」 ※十勝障がい者就業・生活支援センターだいち共催 | 79人 |

2 解決すべき課題

<人員確保>

- ・スタッフ不足（有資格者、実務経験者の確保）
- ・スタッフのスキル不足

<利用者確保>

- ・利用者の確保
- ・事業所の地域への周知

<就労支援>

- ・一般就労や定着のアセスメント手法の構築

<支援体制の再構築>

- ・基幹相談支援センターや他事業所との連携
- ・収益、工賃の向上（社会資源の活用、施設外作業の受注など）

3 実施・解決できたこと

① オビパラフェスタへの参画

オビパラフェスタへの参画により、「地域への周知、工賃向上等、事業所同士の連携」の一助となった。今後も継続して取り組みを進めていく方向で検討している。（オビパラフェスタは上部組織のフェスタ実行委員会との打ち合わせが必要。）

<参加団体からの声>

- ・各事業所の活動内容を知ることができ、自事業所のアピールも兼ねることができた機会になった。
- ・準備の段階から各事業所の職員と顔を合わせていたので、当日は交流しながら良い雰囲気でも過ごすことができた。
- ・販売や展示に参加できない事業所も、パンフレットを置くことで地域にアピールできて良かった。
- ・スタンプラリーでスタッフとして協力した利用者は使命感を持ち業務にあたり、良い経験となった。支援者としても接客対応の様子や取り組む姿勢等のアセスメントにも繋がった。

② 研修「職場実習の取り扱い説明書」

「一般就労や定着のアセスメント手法の構築」の手がかりを学ぶ機会とした。就職を希望している方に対して、どのようなタイミングでどのような実習を行うべきかといった話や、より充実した実習とするためのアドバイスなどを行政・企業の立場で説明した。また、参加された福祉関係者・企業・教育関係者などがそれぞれの立場で就労支援の方法を情報交換した。研修を実施したことにより、「事業所同士の連携やスタッフのスキル向上」の一助になった。

4 実施・解決できなかったこと

令和6年度は多岐に及ぶ課題の中から一部分を取り上げてイベントへの参画を主に行った。

他の課題に関してはまだ取り組めていない状況にあり、今後は就労支援部会で研修や情報共有などの場も欲しいとの意見もあったことから、支援員のアセスメントの向上や事業所間での情報共有の場としても取り組んでいく予定。

5 令和7年度の取り組みの方向性

令和7年1月の部会で、令和7年度に実施する取り組みを以下のとおり整理した。

・研修

「現場スタッフのスキルアップ研修（事例検討）」

「就労のアセスメント方法、就労選択に係る制度について」

・情報共有

「利用者確保や利用者への向き合い方」

「事業形態に応じた悩みの解決」など

・事業所等見学

その他、令和7年度から開始される就労選択支援に向けて、他部会との連携を検討していきたい。